

JP061 最上川河口（もがみがわかこう）

山形県：酒田市

位置 N 38° 54′ E 139° 50′

面積 1,732ha

環境構成【河川】

山形県を縦断する最上川は日本三大急流の一つである。日本海に注ぐ酒田市の最上河口はハクチョウの越冬地として、その数は10,000羽にも達する。ハクチョウの他にカモ類、カモメ類なども飛来し、これらの水鳥をねらって、ハヤブサ、オオタカ、ノスリ、オジロワシ、オオワシなどワシタカ類なども飛来し、冬期は野鳥の天国となる。



写真：築川堅治

選定理由

A4i オオハクチョウ・コハクチョウ・オナガガモ

A4iii カモ類

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10パーセント未満）である

<保護指定の内容>

保護林

保全への脅威

- ・冬期、ハクチョウ、カモ類があまりにも多く集結する
- ・夏に、酒田市の花火大会開催のためにヨシ原の一部が刈り払われる

保全活動

- ・環境教育活動：実施者（日本野鳥の会山形県支部）
内容：探鳥会
- ・モニタリング調査：実施者（白鳥を愛する会）
内容：調査研究活動
- ・その他：
給餌、マコモの植え付け等（白鳥を愛する会）

見られる鳥

冬の水鳥ハクチョウ類、カモ類、カモメ類など

夏は河川敷のヨシ原にオオヨシキリ、コヨシキリ、ホオアカなど

留鳥	ホオジロ、スズメ、トビ、ハシボソガラス
夏鳥	オオヨシキリ、コヨシキリ、ホオアカ、オオジュリン、コジュリン
冬鳥	オオハクチョウ、コハクチョウ、ホオジロガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ
旅鳥	シマアジ、ハマシギ、トウネン、キョウジョシギ

関連団体・自治体・施設等

・日本野鳥の会山形県支部



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community